

寺子屋ふれあい通信

第二号
発行 2015.5.20
稲門寺子屋西東京
金子正男
題字



揺れ動く教育の狭間で

副理事長 山本孝之

今、一枚の写真を見ています。終戦後のある山村の小学一年生の集合写真が、片付けをしていた本の間からヒラリと出てきたのです。バサバサの髪の毛に薄汚れた手と足。女の子は草履とかゲタ履きで、全員モンペを穿いています。二十一名の新一年生たちが春の陽差しの中で、緊張の面持ちで並んでいるのです。長めのコートの下に革靴を履いているのが私です。父親が戦後の闇市で見つけたものだったにちがいありません。このように山間の村にもゆっくると「民主教育」がスタートしたんですね。

わが国の教育の歴史をふり返ってみると、七〇〇八〇年ごとに、変革の波にぶつかっているのです。

第一回目は、古い時代になります。ペリー率いる黒船の出現だったろうと思います。浦賀の港に艦隊が雄姿をならべて号砲をどころかせた途端、役人を始め、見物人



【昭和一五年頃の授業風景】
※参考写真 本文と直接の関係はありません。
〈画像提供：八鍬金三氏〉

は腰を抜かしたに違いありませんね。この一件は、明治維新の幕開けであったし、やがて全国津々浦々に至るまで子どもたちが教育を受ける原動力にもなったわけですね。ただ、明治維新という『回天の偉業』が成し遂げられたのは、武士の藩校、町人の寺子屋が与えた知識・技能が有効に働いたからという歴史家もおります。

第二回目の変革は前述の

戦後の民主主義の教育であったようです。皆さんのご家庭のお爺さん、お婆さんの子どもころになります。昨日まで天皇を中心とした考えが主人公になるんだという考え方への転換ですね。「着物から洋服に」という変化なら付いていけますが、頭の中の価値観を正反対にするのは、かなりの困難だったようです。ここでも、アメリカの強い指示、というよりも命令によって日本の古いきまりとか政治・経済分野、さらには教育システムの改革です。戦後の意思は、新憲法発布にも及びます。ここで注目していただきたいことが2点あります。その1点は、わが国の変革は、いつでも外から来る圧力つまり「外圧」によることです。「黒船事件」でも「太平洋戦争」にしてもアメリカからの影響を見逃せません。2点目は知識注入型教育です。欧米先進国の政治、経済、科学水準に追いつくの

は記憶型人間を量産することだったようです。秀才とは「物覚えのいい子」という定義が生まれ、大黒板で一斉授業方式がまかり通ることになりました。

さて第三回目の改革です。近ごろ、よく「グローバル化」という言葉が飛び交っていますね。従来の知識型英語ではなくて、実践力のある『使える英語』へと変化しています。三年前、娘が在住するシアトルに行った時のことです。朝の散歩道の傍で、ご婦人が花壇の手入れをしていました。何気なく「きれいな花ですね」と英語で声をかけたところ、彼女は何やら花の由来とかご先祖のことらしきお話を、切れ目なく話し続けました。ブルーの瞳と弾丸のように単語が弾ける口もとを見つめるだけでした。日本では外国人と会話を楽しんでいたので、このご婦人の英語は異質なものでした。娘に話したら「国内の外人さんは手心を加えて話してくれるのよ、きつと」

2020年。オリンピックの年ですね。この年から公立の小学生は3年生から英語を学ぶことになりました。また中学・高校での英語授業は、すべて英語で進めることに

なっています。文法英語で汲々とした私たちの世代には、驚きで言葉がありません。これは「国際競争力」に勝つという国家戦略なのです。現にお隣の韓国では、チエシユ島(濟州島)に英国資本のスクールを招致し、幼稚園から高校まで十四年間の共学一貫校をオープンしました。1500人が学ぶ英語の島を構築したのは、まさにグローバル化の波が高まる今日、国際競争力に負けまいとする国家の意志を感じます。



- 事務局便り・・・2
- 先生から・・・2～4
- 保護者の方から 4～5
- 生徒の声
- ・OBから・・・6
- ・中学三年生 7
- ・中二～小五 7～8
- 授業の様子・・・8

事務局便り

現況報告

(平成二十七年五月五日現在)

平成二十七年年度の講座数は二十六、指導者は二十名、生徒数は延べ四十八名(二科目受講者十二名)でスタートしております。生徒別では小学生が十八名、中学生が三十名(いずれも延べ人数)です。

学年別では小学五年生が一名、中学三年生が四名(いずれも実数)と極端に少なく偏りが出ています。

小学五年生の応募が少なかつた原因は不明なので今後理由を検討していかなければと思っております。

新中学三年生については、二月の段階では十五名おりましたが、新学期を迎えるにあたり二十七年度の都立高校の入試が今までの内申書重視から五教科の試験成績重視に変わるので、複数科目を習うため民間塾に通わせる家庭が増加した影響と考えられます。因みに当法人は原則一科目の受講となっております。このことを踏まえ、当法人も来年度の募集に向け、初めから複数科目を募集することと理科・社会も取り扱うか否かを至急検討

討する必要があると考えます。

生徒数	国語		算数・数学		英語		合計
	男	女	男	女	男	女	
小学5年			1	1			1
小学6年	4	2	5	6			17
中学1年	1		6	4	5	1	17
中学2年			2	3		1	6
中学3年			1	3	1	2	7
合計	5	2	14	17	6	4	48

◆48名中2科目受講者が12名いますので、生徒実数は36名。

	講座数		指導者数
	小学生	中学生	
国語	3	1	3
算数・数学	6	11	13
英語		5	4
計	9	17	20
	26		

※1人の指導者が複数講座を担当しているため、講座数と指導者数は一致しません。



《自らが進んで勉強する習慣を身につけよう》

学校の授業や家庭での学習でわからないことが発生したら、そのままにしないで遠慮なく「寺子屋の先生」に聞きましょう。

《問題をよく読み、考える》
日頃から読書することを

心がければ、問題の意味も理解でき、考える力も養われますので、時間があつたらどんな本でもよいから読書することを勧めします。



先生から

※以下の学年、担当は平成二十七年三月時点のものです。

◆N先生 ◆

【担当 国語 小五男2名】
私が「寺子屋」に参加しようと思ったのは学習する意欲があるのに経済的等の事情で学校の授業以外には学べない、そうした子供達に少しでもいいから手助けをしてあげたいという気持ちからです。

学生時代に中学生迄の英・国・数を家庭教師で看ていた経験はありますが、それは大昔のこと、又今は英・数を教える自信もなく、小学生

の国語ならなんとか出来るかなと思つて始めました。この三年間小学五年生の国語を担当して来ましたが、まあ最低限のお手伝いは出来たのかなと感じています。

特に五年生(六年生でも)の場合、読み(読解力)、書き(漢字)の基礎的な力をしっかり身に付けることが最優先課題と思つてやっています。学習方法は学校での授業の進み具合にあわせて教科書に沿つた問題集をやつてもらい、生徒の回答を添削し、その内容を丁寧に説明し納得させる、誤字を正させるといったことが基本です。

個々の生徒の力量の差や学校の授業の進行に依りて、生徒が別々の問題に取り組むこともしばしばです。特に力のある子は一年分のドリルを早々と終了し新たな別の問題集に入るといったこともありましたが、そこはそれぞれの生徒の状況にあわせて出来るだけ具体的、弾力的に対処しています。

困ることは生徒により学習に身が入らず集中力を欠く態度がたまに見られること、何度注意しても隣の子と心ざけあつたり、歌をハミングしたり等です。まあまだ五年生で止むを得ない面も

ありますが学習がはかどらず成績の向上にもつながらないのではと危惧するところでもす。

嬉しいこともありましたが、「前より少し成績がよくなったので国語に対して自信がもてるようになり学習意欲があつた」「前よりも感じがわかるようになり点数があつた」等の生徒の感想に接した時です。おかげさまでいいことだらけですよ。

これからも以上の基本姿勢でやって行きたいと思つています。

◆SK先生 ◆

【担当 英語 中一女1名 中二女2名】
新学期もがんばりましょう!

私が寺子屋で中学生の英語のクラスを担当し始めて三年が経ちます。今年度は女子ばかりで、皆真面目な生徒たちなのでおかげ様で楽しく授業を進めることができました。

三年間クラスを見てきた中で寺子屋の生徒たちはとても真面目で素直な生徒が多いと実感しています。これは入会前の面接で厳しく言

い渡されている「やる気のな
い、時間を守れない生徒はお
断り」の成果かと思えます。
私は毎回、生徒が来た時は
必ず「こんにちは」と挨拶し
「よく頑張ってきましたね」
と付け加えるようにしてい
ます。私の生徒には保谷駅近
くから田無の総合福祉セン
ターにやって来る生徒もい
ます。暑い夏も寒い冬も、学
校の放課後自転車飛ばし
てやって来ます。頑張ってい
ます。当たり前のように思わ
れがちですが、大変な事だ
と思います。

私は毎回休まずに寺子屋
に来て欲しいと思っていま
す。一つ決まりごとのスケジ
ュールをもつたら必ず実行
する強い意志をもって欲し
いからです。物事を学ぶには
それを実行する態度・知識・
知恵をバランスが大切だと
考えています。それが身につ
けば自然に学業に対する考
え方も違ってくるのではな
いでしょか。

授業の進め方は学校の教
科書の進度に合わせていま
す。いつも単語数を増やした
いので、開始直後、必ず単語
テストを10題します。やは
り、英単語の暗記は大切です。
また、基本となる文法や教科
書の英文の確認、それに適応

する問題は市販の問題集を
利用したり時にはインター
ネットで得られるホームス
クローリングのワークシート
を利用したりしています。復
習を中心にと心がけていま
す。



私は英語を、生活を支える
道具手段のひとつと考えて
います。2020年には東京
オリンピックが開催されま
す。生徒たちはたくさんの方
国人観光客をここ東京に迎
えます。今の生徒たちは仕事
で観光客に接することはな
いかもしれませんが、是非ポ
ランティアでオリンピック
の開催をサポートをして欲
しいと考えています。その時
に英語をたくさん使って欲
しいと考えています。今から
目標をもって英語の学習を
すれば素晴らしいモチベー
ション・動機になると思い
ます。その経験は必ず自分た
ちの人生の大きな力になる
と考えています。

最近、Janet Matalaという
本を読みました。ノーベル平
和賞を受賞したパキスタン
人のマララ ユスフザイサ
んの伝記本です。彼女は世界
中を震撼とさせているイス
ラム過激組織の襲撃を受け、
奇跡的に命をつなぎました。
彼女は、現在、子供達の権利、
特に平和な中で教育を受け
る権利を主張し運動を続け
ています。世界中にはたくさ
んの教育を受けられない子
供達がいいます。環境の整った
私たちが日本人は逆にそう言
った運動を何かしらの形で
支援しなければいけないと
も感じました。英語を学ぶと
いうことは世界の様々な情
報を受けとることに繋がり
ていると確信しています。

三学期には生徒から見事
に英検三級を合格したとい
ううれしいニュースをもら
いました。新年度の私の授業
に臨む上での大きな励みに
なりました。先生も頑張りま
す。生徒の皆さんも頑張りま
しょう。

◆KM先生 ◆
「担当 数学 ①中二女1
名中三女1名 ②中一男1
名中二男1名中三男1名」
教える思い

「小・中学生の無料学習教

室始まる！、平成二十一年
十月初めこの記事が偶々目
に留まり、明確な趣旨に共感
しました。子供の教育関連で
なにかできることがあれば
と思っていた頃です。
どのように教
えるかよいだろ
うか。



同じ学年の生
徒に白板を使っ
て授業のよう
に進めたり、教科書は学校でや
ったところを改めてやり直
すこともないかなと教科書
準拠参考書で補充学習中心
に進めたり、授業理解の助け
に予習を多めに取り入れた
り等試行錯誤した結果、一律
でなく理解度に応じた指導
が必要、教科書自体の理解が
まだ足りない、予習は時間が
案外かかる、等がわかりまし
た。

これらの経験・反省から現
在は、学年の同異に関係なく
個別対応、基本的に教科書・
復習中心、時間があれば参考
書プリントで補充学習・予習
を行っています。テスト前は
学校配布の問題集も活用、同
じようなタイプの問題を沢
山解いて体で覚える感じで
学ばせるようにしています。
教科書・参考書の問題は、

難易に関係なく私も自分で
一度計算するよう心がけて
います。生徒がつまずきそう
な箇所、計算ミスの起きにく
い工夫、わかりやすい別解、
等に気付きます。ひと通りの
準備を当日の二、三日前に済
ませておきます。新たな考え
が出てくることがあり、見直
しの余地を残します。

当日は、うまくいくかなと
緊張感をもってでかけます
が、しつくりいかなかったと
きを振り返ると、結果を早く
求めたり、こちらのペースで
進めがちになっていたらと気
づかれます。手が止まって
いても頭の中で考えを巡ら
せていれば少し待ち、適切な
タイミングに適切なアドバ
イス等、生徒との問合いをう
まくとるよう心がけていま
す。時に、生徒とテンポよい
やりとりで学校の1週間分
以上学習できることがあります。
そのような時、よくで
きたねとあえて言わずに「面
白いですよー」と声をかけ
ます。何事もわかるようにな
ると面白く楽しいはずです。

教え方次第で評点が1ラ
ンク上がると思われる生徒
が多くいます。個々の生徒に
合った多様な指導により、生
徒の能力を引き出すよう心
がけたいと思います。

◆KK先生◆

【担当 英語 中二女1名 中一女1名】

英語の上達は「音読」で

世の中の国際化が進み、多くの人が英語を学び、英語が世界の共通語となつてきています。世界の様々な情報が入手には「英語が読める」ことが今後ますます重要で
す。しかし、中学、高校で学
年が進むにつれて英語の文
章がなかなか読めない、長文
読解は大嫌いと言つて学生が
増えてきます。「英語はなん
とか読めるけど話せない」と
いう社会人も、その読み方は
たいてい「辞書を引き時間を
かけてなんとか日本語に訳
す」で、実態はちよつとたい
へんそつです。

英語は（英語→イメージ）
の流れで理解できることが
大切です。英語が苦手な人は
（英語→日本語→イメージ）
となり、しかも英語と日本語
では文の語順が異なるため、
日本語訳に時間を取られて
進みません。この流れから抜
け出さないと会話にもつい
ていけないし、聞き取りも難
しいです。
（英語→イメージ）の流れ
を会得するにはまず教科書
の「音読」です。

授業で文法や意味が理解
できた教科書の英文を何回
もひたすら声を出して読む。
一回の授業で学習する教科
書の英文は約一頁。その日学
んだ英文を何回もひたすら
声を出して読んでみる。五感
を総動員して、声を出して読
み、手で書き写す。寺子屋備
付の教科書CDを借用して
聞き、CDの声に合わせて一
緒に繰り返し読んでみる（初
めは少し大変ですがカラオ
ケのノリでやってみる）。た
だし、会話文は実際に会話し
ているように、長文はお友達
に聞かせるような気持ちで
読むことです。これらはまさ
に運動選手の基礎練習と同
じ手法です。そして何よりも
授業の復習になります。

音読を繰
り返してい
くと英文の
意味が英語
の語順に従
って理解で
きるように
なります。



CDを聞いて内容が理解
できるようになり、文の細か
い内容（冠詞、複数形、過去・
現在の時制など）が、読みな
がら、聞きながら理解できる
ようになります。「外国人と
話せるようになりたい」と多
くの人が希望しますが、音読

を続けると英文が記憶に残
り、英会話にもきつと生かさ
れてきます。

◆SY先生◆

【担当 数学 中二女1名 中一女1名】

私の願い

私の願いは、皆さんに算
数・数学と国語と英語の3教
科を全部好きになつてほし
いことです。
それには深いわけがあり
ます。日本は天然資源やエネ
ルギー・食糧が乏しく、その
多くを他国に頼っています。
そうしたなか世界に自慢で
きる日本の宝は私たち自
身・日本人そのものだと思
います。



多くの日本人
がノーベル賞を
受賞し、また、
世界中で愛用さ
れているスマホ
には日本製高性能電子部品
がたくさん入っていて重要
な役割を果たしています。昨
年「和食」がユネスコ無形文

化遺産に登録されましたが、
私たちはふだん、そば・うどん
、ラーメン、日本式のカシ
ーライス、丼物などの日本料
理をあたりまえに食べてい
ます。日本料理は各地に名産
品があり外国では類がみら
れないほど多彩で今も進化
していて、近年では外国人の
愛好家も多いと聞きます。こ
れら日本の文化は、日本人の

ものごと（しんし）に真摯に向き合う
態度、勤勉性、相手を思いや
る行動やおもてなしの心が
源になつてい（しんし）ると思ひます。
世界に発信してきたこの
ような日本の文化は一朝一
夕にできたものではなく、お
父さん・お母さん、おじいさ
ん・おばあさん、そしてさら
に昔の先達の小さな努力の
積み重ねによつてでき上が
りました。そして、これから
は皆さん一人ひとりが受け
継ぎ、さらに発展させてほ
しいのです。

皆さん、いまは無限の可能
性があります。将来何をした
いか、まだ決めていない人も
多いと思います。いつか進路
を決めようとするとき、すな
わち、日本の文化を受け継ぎ、
発展させる分野を選択しよ
うとするとき、算数・数学と
国語と英語の3教科を身に

着けていればスムーズにい
けることが、どれか不足して
いるとその知識が必要にな
って可能性が縮まり後悔す
ることになります。そのとき
に挑戦できるよういまから
備えましょう。そのために、
いまからでも3教科を好き
になつて身につけてほしい
のです。

では、どうすれば好きにな
るのでしょうか。3教科のな
かでもとりわけ算数・数学が
苦手な生徒が多いのでここ
では算数・数学についてお話
しますが他の教科について
も参考になると思ひます。私
はいま寺子屋で数学を担当
していますが、数学に苦手意
識があつて、さらにあきらめ
につながる場合が多いよう
に感じています。得手不得手
はだれにでもあります。苦手
を克服することには努力が
必要です。ではどのように努
力すればよいかですが、まず
学校の授業に集中しましよ
う。つぎにわからないところ
を学校の先生に聞か、寺子
屋で勉強しましょう。それだ
けです。あまり家で時間をか
けて勉強しなくてかまいま
せん。それで理解が進めば、
自然と算数・数学が好きにな
ると思ひます。

私の願いがかなうことを
祈つています

保護者の方から

※以下の学年は平成二七年三月時点のものです。

◆保護者Mさん◆

【生徒 小五男 国語】

- (1) 思っていた以上にいいねいに教えて下さって感謝しています。団体としてもしっかりといて安心して子供を預けられます。
- (2) 学力アップが一番ですが、勉強を好きになる事、勉強をやる習慣、やる気が出る方法など教えてほしいです。(なぜ、今勉強している内容が必要なのか等)
- (3) とても楽しいと言っています。先生がやさしくて分かりやすい。初めはしぶっていましたが、今は自分から「今日水曜日だよね。寺子屋だね。」と行く事が楽しみのようです。帰ってきてても楽しく話をしてくれます。

(4)

① 母子家庭なので学校であつた事、寺子屋での事、友達の話などほとんどの事は話をしてくれます。勉強は前までは何度も声かけしないと机に向かつてくれませんでした。

今は二度言うつと宿題を始めてくれるようになり

ました。友達と遊ぶ時間は大切にしています。

ゲームの時間などもきめていませが、一人っ子なのもあり、家ではあまりしません。今では絵(マンガ)を描いたり、読んだりしています。

② 子供らしく元気で楽しく学校や習い事に行つてほしいです。友達とも仲良くしてほしいです。勉強は好きになってほしいです。

まだ、やる気や向上心がないので中学生になるにつれて身につけてほしいです。勉強が楽しくなり(ストレスも少なく)成績があがってくれる事を願っています。

せっかく縁がありそちらでお世話になつているので、時間やマナー、あいさつなど人間としても学んでほしいです。

③ 何になつてほしいとか

はありませんが、時間や仲間をたいせつに出来る人になつてほしいです。自分のやりたい事が(進みたい道)みつかり、その夢に向かつて努力し夢をかなえてほしいです。

思いやりがある皆様から愛される常識のある人になつてほしいです。

(5) 息子の学習での問題点や、家で親が見れる事、やらせる事(課題)があればおしえてほしいです。(息子は出来ている。大丈夫と言つのですが・・・本当が分かりません。)

一年間お世話になりました。先生達のおかげで息子が勉強好きになり、成績も少しずつですがよくなつています。これからもご指導よろしくお願い致します。

- (1) 寺子屋をどのように思っていますか？
- (2) 寺子屋に期待していること
- (3) 寺子屋について、お子さんはどのようなことを言っていますか？
- (4) お子さんについて
- ① 家での様子(ご家族とのかかわり、勉強、遊び等)、
- ② 期待していること、
- ③ どのような人になつてほしいと思つていますか？
- (5) その他 どんなことでも

◆保護者Rさん◆

【生徒 小六男 算数】

(1) 学校の予習復習をし、分からないところを重点的に学ぶ場。

(2) 学ぶ楽しさを子どもたちに感じさせてあげてください！

(3) 息子は三年生の時に海外生活を一時していたので、その間の学習が身に付いておらず学年を進級しても分からずじまいでした。寺子屋に入り「下の学年まで下がつて復習させてもらったおかげで授業に追いつくことができました。」と喜んでいました。

(4)

① お友達が多く、朝は五時半起きてサッカーの朝練に参加。

学校から帰宅するとランドセルを放り投げ、すぐに近くの児童センターに行き一八時ごろまで遊び、勉強は二〇時から一時間か一時間半するというライフスタイルです。

親としては本を読む時間などを作ってほしいなあというのが本音です。

六年生になり学級担任が変わり、勉強にやる気が出てきた様子で、集中力

がついてきたのを感じま

す。

② 中学校では生徒会役員になりたいと言つています。社会に出た時に必ずその経験が本人を助けてくれると思うので、ぜひ応援してあげたいです。

③ 人の気持ちをよく理解するやさしい子で、人からもよく好かれます。その長所を生かし、さらにコミュニケーション能力に磨きをかけ、社会の役に立てる大人になつてほしいです。

(5) 寺子屋は少人数制なので、分からないところは徹底的に学ぶことができる素晴らしい場だと思つています。経済的理由で塾に通えない子どもさんのために、これからも広く門戸を開いていって欲しいと思つています。



◆保護者Oさん◆

【生徒 小六男 算数】

(1) 学校で理解できなかったところを、理解できるようにして頂ける所。

学校でついていけず、勉強がつまらなくなり、段々と授業が嫌になってくるのを改善してもらえて感謝しています。

(2) 今のまま。少人数で対応を続けて頂けると子供も集中がきれず続けることができると思っています。

(3) 宿題をやっている時に「あつ、こ寺子屋でやったのと同じだからわかる」ということがあります。休むことなく自分で時間になると寺子屋に通っているの、きくと楽しみにしているのだと思います。

(4) ①毎日ギリギリまで遊んでいて、母が仕事から帰る頃はタラタラしています。最近では声かけをするとう宿題をするようになります。

②寺子屋で教えてもらう教科以外ももう少し頑張っています。

③素直で優しいままです。

(5) 自分が好きなこと以外

は集中できず、勉強をやらせようとすると怒っていた子が、寺子屋にお世話になる様になってからは、声をかけると少し勉強するようになった。本当に感謝しています。

- (1) 寺子屋をどのように思っていますか？
 (2) 寺子屋に期待していること
 (3) 寺子屋について、お子さんはどのようなことを言っていますか？
 (4) お子さんについて
 ①家でのご様子（ご家族とのかわり、勉強、遊び等）、
 ②期待していること、
 ③どのような人になってほしいと思っていますか？
 (5) その他 どんなことでも

◆保護者Tさん◆

【生徒 中三女 数学】

(1) 静かに勉強するには良い環境。

(2) 勉強を楽しめる様に指導して下さい。

(3) 基本的に自習中心であるとの事（先生方との係わりが見えない感あり）

※自分自身で勉強をする習慣は身に付いたのでは？と思います。

◆保護者Sさん◆

【生徒 中二女 数学】

(1) 無料で教えてくれるので感謝しています。

(3) 楽しいと言っています。



生徒の声

《OBから》

【現在 高校二年 男子】

寺子屋受講 小六・国語 中一・数学、中二・英語、中三・英語、数学

(1) 寺子屋に通っていたころの思い出

(2) 寺子屋で「いいなあ」と思ったこと

中学に入学し部活として野球部に入部。けっこう真面目に練習して頑張っていました。学校生活は新しい友達も出来てとても楽しく送っていました。

数学はそもそも得意な科目ではなく、徐々に成績は下がっていました。

寺子屋に通い始めて、劇的に成績が改善する訳で

はありませんでしたが、最悪の結果を残すことはかろうじてありませんでした。3年の時お世話になった先生はとても優しく見守って下さいまして、数学嫌いにならずにすみました。高校入試は推薦入学決まってしまったのでテストで実力は試せませんでした。現在高校では数学は得意科目です。

英語は僕自身とても好きでなかでも英会話(黒人の方に話しかけるのが)は特に楽しい時間でした。中学入学当初はテストで点数を取っていましたが、学年が上がるにつれて下がりはじめました。英語自体は好きなのにテストでは点数をとれませんでした。3年の時に習った先生はとても厳しい方でしたが、解らない所を徹底的に教えて下さいました。入試で実力は試せませんでしたけど、今では高校で得意科目のひとつになっていきます。おかげで英語を好きな気持ちのままです。

感謝しています。

(3) 寺子屋で「やだなあ」と思ったこと

テスト前は別にして、家で勉強は少なかった。今

思うと家でやるのはいやだったが、もっと続けてやってあげば、中学時代ももっと勉強が好きになっていたかもしれない。

(5) どんな部活をしていますか？

(6) 大きくなったら、なにになりたいですか？

前から建築関係に興味をもっており、設計をしたり色々な建物を作ったりしてみたい。

(7) 今一番楽しいこと

今、一番楽しいことはテスト。数学はあまり得意な科目ではなかったが解らないことを細かく教えていただき、続けたので、今高校では得意科目になっている。

英語は好きだったが、なかなか点数に現れなかった。ただ、厳しい先生に教えていただき、ついでだったので嫌いにならずに進め、これも得意科目でテストが待ち遠しい。

(9) その他

中学の時、テストは得意ではなかったが、成績に関係なく続けて勉強をしていけば結果は必ず出るということはわかっていた。

《中学三年生から》

※以下の学年は平成二十七年三月時点のものです。

◆中三女子 数学

(2) 高校受験で大変だったことは？

「得意教科で良い点を取れるから、苦手強化の勉強は多少怠けても大丈夫」なんて、甘い考えは良くない。事前から全教科とも平均的な点数を得られるようにすること。でない、試験で辛い。でも、平均的な点を得るのは大変な人も居る、だから、事前勉強は「早過ぎる」くらいに始めると丁度良い。面倒だし大変だけどね。

(4) 寺子屋での思い出は？

クリスマス・パーティーやハロウィン・パーティーはなかなか良い思い出。中学になってからは、皆でパーティなんてそうそう無いから、つい楽しみに。お菓子を貰えるのも嬉しいけど、クリスマスやハロウィンの起源や、国によって違うその日の過ごし方など、文化の勉

強も楽しく出来る。

(5) 寺子屋の先生へのメッセージがあれば

長い事、大変お世話になりました。



「生徒直筆の絵」

◆中三女子 数学

(1) 中学を卒業するにあたって今の気持ちは？

中学校の仲間との別れを寂しく思う反面、高校での新しい出会いに期待している。

(2) 高校受験で大変だったことは？

希望校を決めること。

選んだらその高校で三年間学習・生活するから。

(3) 高校生になったらどんなことをしたいですか？

部活動。中学校では部活動にあまり参加できなかったから。

(5) 寺子屋の先生へのメッセージがあれば

三年間ありがとうございました。数学の力がつ

いて良かったです。

(6) 寺子屋で「いいなあ」と思ったこと

わからないところを先生が丁寧に教えてくれる。

(11) 今一番楽しいこと

友達と他愛もないことを話すこと。友達と出かけること。食べることを寝ること。

(12) 今困っていること

高校生になったらどうなるのか未知だということ。困っているというより不安かもしれない。高校生活を送っている自分があまり想像できないこと。

(13) その他

寺子屋に通って良かったです。週一度ではあるが先生に教えてもらうことで理解することが出来たから。本当にありがとうございました。



《中二から小五年生》

※以下の学年は平成二十七年三月時点のものです。

◆生徒 中二女子 英語

(1) 先生が優しい

(2) わかりやすいし先生がプリントを作ってくれる

(3) 休憩時間が無い

(5) 一年の中で行事があるときは15〜30分でパーティーしたい

(6) テニス部。楽しいこと前よりうまくなった！と思う時、試合で勝った時。大変なこと。特にない

(7) いまのところは介護福祉士になって高齢の方の手伝いをしたい

(8) 授業で発言できた時！(楽しい嬉しい)

◆生徒 中二女子 数学

(2) 分からない問題があったら分かりやすく丁寧に教えてくれること。

(6) 園芸部 たのしい……夏にきゅうりやピーマン、トマト等の野菜を植えて自分たちで収穫したり調理したりすること。

(7) 美容師



- (1) 寺子屋をどのように思っていますか？
- (2) 寺子屋で「いいなあ」と思うこと
- (3) 寺子屋で「やだなあ」と思うこと
- (4) 寺子屋について、お家の人が言っていること
- (5) 寺子屋の先生にお願いしたいこと
- (6) どんな部活をしていますか？
楽しいことは？ 大変なことは？
- (7) 大きくなったら、なにになりたいですか
- (8) 今一番楽しいこと
- (9) 今こまっていること
- (10) その他 どんなことでも

◆生徒 中二女子 数学

(1) 授業のわからないところを聞き細かく教えてくれること

(2) 質問したことに對して細かく説明してくれること。

(3) 宿題が全然ない

(4) 特に何も言っていない

(5) 宿題を出して欲しい。

(6) ソフトテニス 楽しいこと 友達と楽しく打てる 大変なこと 前後左右走らなければいけない。

(8) 部活や友達との時間。

◆生徒 中二女子 英語◆

- (1) 無料なのにしっかりと教えてくれるし役に立つ。
- (2) クリスマスとかの行事。
- (3) 休憩時間を決めてほしい。そこで飲食したい。
- (4) 問題集とかを見て、こんなにかんちゃんとやってみるんだ。
- (6) 陸上部 ・ いいタイムが出た時 ・ なかなかいいタイムが出ない！：練習がキツイ
- (7) 美容系
- (8) 友達と話したりふざけること。ショッピング テレビドラマを見る 音楽を聞く。
- (9) 受験について。

◆生徒 中二女子 英語◆

- (7) 将来の夢は小学校の先生です！ きっかけは小学校の時の先生です。
- (8) 友達と話したりふざけること。ショッピング テレビドラマを見る 音楽を聞く。
- (9) 特にはないですが、しいていうならテスト…。少しずつですが下がっています…。(トータルの点数です)。
- (10) 寺子屋の先生方 いつもありがとうございます！

- (1) 寺子屋をどのように思っていますか？
- (2) 寺子屋で「いいなあ」と思うこと
- (3) 寺子屋で「やだなあ」と思うこと
- (4) 寺子屋について、お家の人が言っていること
- (5) 寺子屋の先生にお願いしたいこと
- (6) どんな部活をしていますか？
楽しいことは？ 大変なことは？
- (7) 大きくなったら、なにになりたいですか
- (8) 今一番楽しいこと
- (9) 今こまっていること
- (10) その他 どんなことでも



◆生徒 中二女子 英語◆

・数学◆

- (1) 分からない所を詳しく分かりやすく教えてくれる所。
- (2) 少し分からないことを楽しく教えてくれること。
- (3) 少し休み時間が少ないこと。
- (5) 休み時間を増やしてほしい。
- (6) テニス部。部活をしている時。上下関係。
- (7) 保育士が女優。

◆生徒 小六男子 算数◆

- (1) とてもいいところだと思います。
- (2) 分からないところを分かりやすく教えてくれるのでとても助かります。
- (4) ほんとうに行ってよかったね。

◆生徒 小六男子 国語◆

- (1) とてもわかりやすく成績が上がった。
- (2) (一)にも書いたとおりわかりやすいです。
- (4) タタで国語の成績があがり一せき二ちゅう(一石二鳥)
- (7) 画家 水々館のひと
- (8) 絵を描くこと

◆生徒 小五男子 国語◆

・算数◆

- (2) いろいろなことをおしえてくれる。
- (6) サッカークラブ
- (8) 寺子屋で宿題をしている時。



ここはね

授業の様子



今日の勉強について話すよ



これはこうしたらどう？

編集後記
皆様のご協力で、第二号を発行することができました。ありがとうございます。
本通信は皆様のコミュニケーションを深めることを目的としています。内容等についてご指摘、ご提案をいただけるとう助かります。よろしくお願いたします。

編集委員
高橋薫 関口和子